

# 教団新報

定 価 1部 144円(本体 133円+共 206円)  
予約購読料 1年分 千共 5,150円  
紙代のみ 3,600円  
振替 00140-9-145275  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保 1-7-18  
電話 03(3202)0546、FAX03(3207)3918  
URL http://uccj.org  
発行人 長 崎 哲 夫  
編集主筆 渡 邊 義 彦  
印刷所 株式会社きかんし

## 教区総会報告

神奈川

総幹事総括

2015 年度

4

全教区、新総会期をスタート



従来通りの形で准允式を行う

### 教師身分に関する答申を巡り議論

神奈川教区 第134回神奈川教区総会  
は、6月27日、清水ヶ丘教会で、正議員232名中171名の出席で開催された。

三宅書記は「6月2日の常置委員会では、まず信仰職制委員会の答申の意味内容を理解するという意味で継続審議とした。教区に様々な意見が渦巻いている中で、断定的なことではできない」と答えた。平良愛香議長は、議論を打ち切り、組織会であることを踏ま

え、常置委員会の決定で進めるとした。その後、議事日程の承認直前に「准允・按手の議案も含まれている。教団信仰告白を告白して、議事を始めてほしい」との動議が出された。平良議長は「神奈川教区として信仰告白を告白していないことにも意味があるのではと思う。何故今までしてこなかったのか。そこから掘り下げて話し合いをすべきではないか

と考える」と応答。また、似た動議が教区総会毎に提出されることに関して、議員提案にできないかとの議場からの指摘があったが、「この議論は、前回総会において継続事項であり、常置委員会が今総会において告白しないと決議したことに対する動議である。もし、議員提案をするのであれば、常置委員会の意見を無視することになる」との反論があった。議長は緊急動

議として扱い、170名中45名の賛成で否決。従来通りの形で、3名の准允と1名の按手が執行された。問安使挨拶においても、北村氏への対応から質疑が始まり、沖縄教区への対応や教区とは何かとの、教団と教区の関係を問う質問が相次いだ。特に、第39回教団総会で北村氏関連議案を執行使に関する法案撤廃、辺野古基地建設の撤回議案には、「これらの議案は、ある一つの考え方が強制さ

る」との考え方が強制されていると思う。私たちは信仰によって一つであって、政治的見方によって一つではない。教区の議案ではなく、個人的な賛同者を募るという形で取り扱ってほしい」との意見もあったが、どの議案も134名中100名前後の賛成によって可決された。

（佐藤 進報）

### 17教区総会を終えて

本年も4月末の連休入りから始まった北海・四国両教区総会から2ヶ月かかって、去る6月27日に開催された神奈川教区総会まで、教団17教区定期総会が終了した。

今回、多くの教区で共通した主な議事は、「伝道資金規則」及び「東日本大震災救援資金の終了」関連が中心であった。特に大阪教区では、伝道資金規則に端を発して教区常置委員会提出の新年度予算が原案、修正案とも否決される等、既に新年度会計が始まっている諸教会には一部混乱があった。大阪教区は、この総会後にも改めて、教区活動連帯金を廃止し、伝道資金規則を制定し

た第39回教団総会」に対する疑義を教団に抗議して来た。内容は、①規則制定や負担金の制定は「三分の二」条項を無視したのではないのか。②教区活動連帯金によって大切にされてきた教区間互助の有り様が失われた。③伝道資金規則の運用が不明瞭であり、こうなつたのも当規則に対する不信の表明であるとした。

さて、本年も沖縄教区は「教団との一定の距離」をもって、教団問安使を受け入れず、問安使は内地からの出席者同様の傍聴者として2日間の議事の中で経過した。この総会を通して教団執行部に対する批判を沖縄教区議長は、「議長中間報告に19頁をもって行った。その膨大なものを議長が総会で読むことはなく、議場の承認を改めて受けることはなかった。その間、厳しい教団批判に、一議員から、「教団から来ているので（総幹事のこと）発言を求めたらどうか」との声もあったが、傍聴者の発言は当然とりの上げることとはなかった。

因みに、教団三役は、今年も沖縄教区は「教団との一定の距離」をもって、教団問安使を受け入れず、問安使は内地からの出席者同様の傍聴者として2日間の議事の中で経過した。この総会を通して教団執行部に対する批判を沖縄教区議長は、「議長中間報告に19頁をもって行った。その膨大なものを議長が総会で読むことはなく、議場の承認を改めて受けることはなかった。その間、厳しい教団批判に、一議員から、「教団から来ているので（総幹事のこと）発言を求めたらどうか」との声もあったが、傍聴者の発言は当然とりの上げることとはなかった。

さて、17教区総会の開催前、本年も京都教区議長には再三教団問安使受け入れを打診した。だが、今回は教団議長を総会前の協議会には受け入れるが、総会に

### 教団総幹事 長崎哲夫

は出席を遠慮するという返事だった。同時に、教団新報の記者の受け入れも無理で、結果的に総会記事も教区総会議長が書くと言われた。これももう毎度のことだが、何故なのか理由が分からない。理由を説明してもらいたい。

中部教区総会問安中、一議員が、終了した「東日本大震災救援資金」に触れ、集められたものは全て教会の会堂牧師館再建支援金に当てるべきで、被災教会への貸付金はおかしいと言われた。この議員は教団募金には応ぜず、直接被災教会へ送金していた教区からこの4月に同教区へ赴任したのであったが、「貸付金」は教団が用意して各教会か

から始まった北海・四国両教区総会から2ヶ月かかって、去る6月27日に開催された神奈川教区総会まで、教団17教区定期総会が終了した。

今回、多くの教区で共通した主な議事は、「伝道資金規則」及び「東日本大震災救援資金の終了」関連が中心であった。特に大阪教区では、伝道資金規則に端を発して教区常置委員会提出の新年度予算が原案、修正案とも否決される等、既に新年度会計が始まっている諸教会には一部混乱があった。大阪教区は、この総会後にも改めて、教区活動連帯金を廃止し、伝道資金規則を制定し

た第39回教団総会」に対する疑義を教団に抗議して来た。内容は、①規則制定や負担金の制定は「三分の二」条項を無視したのではないのか。②教区活動連帯金によって大切にされてきた教区間互助の有り様が失われた。③伝道資金規則の運用が不明瞭であり、こうなつたのも当規則に対する不信の表明であるとした。

さて、本年も沖縄教区は「教団との一定の距離」をもって、教団問安使を受け入れず、問安使は内地からの出席者同様の傍聴者として2日間の議事の中で経過した。この総会を通して教団執行部に対する批判を沖縄教区議長は、「議長中間報告に19頁をもって行った。その膨大なものを議長が総会で読むことはなく、議場の承認を改めて受けることはなかった。その間、厳しい教団批判に、一議員から、「教団から来ているので（総幹事のこと）発言を求めたらどうか」との声もあったが、傍聴者の発言は当然とりの上げることとはなかった。

因みに、教団三役は、今年も沖縄教区は「教団との一定の距離」をもって、教団問安使を受け入れず、問安使は内地からの出席者同様の傍聴者として2日間の議事の中で経過した。この総会を通して教団執行部に対する批判を沖縄教区議長は、「議長中間報告に19頁をもって行った。その膨大なものを議長が総会で読むことはなく、議場の承認を改めて受けることはなかった。その間、厳しい教団批判に、一議員から、「教団から来ているので（総幹事のこと）発言を求めたらどうか」との声もあったが、傍聴者の発言は当然とりの上げることとはなかった。

さて、17教区総会の開催前、本年も京都教区議長には再三教団問安使受け入れを打診した。だが、今回は教団議長を総会前の協議会には受け入れるが、総会に

は出席を遠慮するという返事だった。同時に、教団新報の記者の受け入れも無理で、結果的に総会記事も教区総会議長が書くと言われた。これももう毎度のことだが、何故なのか理由が分からない。理由を説明してもらいたい。

中部教区総会問安中、一議員が、終了した「東日本大震災救援資金」に触れ、集められたものは全て教会の会堂牧師館再建支援金に当てるべきで、被災教会への貸付金はおかしいと言われた。この議員は教団募金には応ぜず、直接被災教会へ送金していた教区からこの4月に同教区へ赴任したのであったが、「貸付金」は教団が用意して各教会か



神奈川

応が定まったという理解である。議長が上程しないとすることに對して、議場からは特に異論がなかった」と答えた。

但し、北村氏の「免職」撤回を求め、教団内に聖餐の在り方について議論をする場の設置を求める議案は、134名中101名で可決され、教区が北村氏の問題を担い続ける姿勢が明らかとなった。

その他、ヘイトスピーチに関する声明、集団的自衛権行使に関する法案撤廃、辺野古基地建設の撤回議案には、「これらの議案は、ある一つの考え方が強制さ

る」との考え方が強制されていると思う。私たちは信仰によって一つであって、政治的見方によって一つではない。教区の議案ではなく、個人的な賛同者を募るという形で取り扱ってほしい」との意見もあったが、どの議案も134名中100名前後の賛成によって可決された。

（佐藤 進報）



巣から落ちたのか、雀の子を息子に連れ帰ってき た。雨の日で濡れてほとん ど動かない。動物病院に電話し介抱の仕方を聞くことだ、と言う。湯たんぽを置くことを教えてくれた。置いてやると身体をくっつけている。それでも濡れた羽根がなかなか乾かないので、電気スタンドのランプを近づけてやった。▼しばらくすると動き始め、元気が出てきたら与えるように教えた。最初のうちは立ち上がることままだらなかつたが、元気が回復してると、羽もふくらとし、足にも力が入るようになった。箱の中に渡した枝にもとまれるようになった。▼そうして一週間朝、冷たくなっていた。前の晩は餌もよく食べてさえずっていたのだが、丁寧に対応してくれた動物病院にお礼を兼ねて報告に行くと、雀はわからないことが多く直前まで元気でも急に死んでしまうことがあると教えてくれた。自分も幼いときに弱った雀を連れ帰って世話をしたが、元気にして空に返すことができなかったことを思い出した。▼小さな雀一羽をもお忘れにならない方、小さな雀一羽の生命をも支配なさるお方、このお方のお許しがないければ雀も地に落ちることはないことを、この一週間の小さな出来事思った。





宣教を共に担う同労者たちと

# 新任教師 オリエンテーション

6月15日・17日まで、新任教師オリエンテーションが天城山荘にて開催された。新任教師オリエンテーションは、教規43条(2)により、教師委員会がつかさどる教師研修として行われている。今年も例年のように、主題「教師の教師として宣教を共に担う」のもと、3日間のプログラムであった。4月より教会やキリスト教学校で仕えはじめて3ヶ月ほど経過して、様々なことを経験してきた新任教師にとって、教師の教師として立てられた同労者と過ごす貴重な3日間であると考えてプログラムを設定している。今回の参加者は新任教師43名、教団・神学校関係者25名、総計68名であった。

1日目は開会礼拝(説教 菅原力委員長)から始まり、石橋秀雄教団議長から講演「日本基督教団の伝道

があった。石橋議長の講演は、東日本大震災10億円募金に教団が一致して献金運動として取り組み、これを達成することができたことから、さらに伝道協力として一致することが求められていることについて語った。その伝道協力として2015年度から伝道資金が開始されたこと、その一例として東京教区が伝道資金を申請して実施した伊豆諸島および離島教会の修養会・礼拝なしには信仰が成り立たないという信徒によって自身が育てられたこと、最後に伝道協力によって一致するためには逆転してならない二つのことがあること、すなわち「洗礼から聖餐へ」と「伝道から愛の業へ」という順序を逆転してはならないことを強調して締めくくった。夕食の後は、交わりのときをもつて、1日目を閉じた。

2日目は朝の礼拝(説教阿部晋也伝道師)からはじまり、午前は次の3つのセッションであった。

佐々木美知夫教団副議長  
「教団の教師像。教師として立てられるとは「教憲・教規により主の体たる公同教会の権能を行使するためである」という教憲・教規における教師像を確認し、自身の経験をふまえて教会や関係学校などにある教師像と共に教師が育てられていく必要性が語られた。

岡本知之教師養成制度検討委員「教師養成の昨日・今日・明日、これは例年特別講師を迎えて行う講演に代わるものとして企画されたもので、現在教団が取り組んでいる教師養成の課題についての講演であった。日本社会が直面する超高齢化社会の中で、教団は大きな岐路に立っているとの認識から、①今後教師に求められること、②教師養成に求められること、を取り上げた。特に②については(1)教師養成の出発点(信徒訓練)、(2)献身(神学教育)、(3)准允(教会訓練、生涯教育)、(4)メンタルケア」というプロセスがある。

こと。(1)(2)は神学校に求められることで、教会形成力をもつ教師の養成が求められること。神学校と協力する神学校委員会の再建も視野に入ること。(3)(4)(5)は教団が担うことが求められること。教規上では認められない任期制の発想が教会の中に入り込み、教会が教師を雇用する形態になり、神の派遣した御言葉の役者という教師観が変化しているのではないか。何よりも教師に求められるのは、①教会だけしか語ることができない言葉を持つこと、②覚悟を決めて仕えること、にあるのではないかとの提言があった。その後には活発な質疑応答がなされた。

雲然俊美教団書記「震災の取り組みについて」、資料によって、教団がこの4年間にやってきた取り組みについて報告した。

午後のセッションは、長崎哲夫教団総幹事「教団の機構について」、教団の教勢の推移、機構図を参照しながら教団の機構、さらに関

りについて、の解説があった。引き続きて教団三局などの「教団の取り組み」(事務局・出版局・年金局・隠退教師を支える運動・宣教研究所・部落解放センター・教師委員会)について、それぞれ担当者からの説明があった。

午前と午後の長いセッションを終えて、自由時間には温泉や浄蓮の滝散策などリフレッシュのときをもち

ち、夜には7分団に分かれた。この分団は付属施設のある教師や主任担任教師の分団もあり、それぞれの課題を分かち合った。

3日目も朝の礼拝(説教北口沙弥香伝道師)から始まり、毎年好評の「牧会講話」のときをもった。今年も小島誠志牧師(久万教会)が駆け出し時代から今日までの歩みを通して、ユニークなことをこめて語る言葉

は、新任教師にとって励ましと慰めの講話となったようである。最後は参加者が一言の感想を語る「全体のため」とめ、閉会礼拝（説教・大友英樹委員）をもって、3日間のプログラムを閉じた。

なおオリエンテーションの期間中には、教師委員会を開催し、委員会に託されている事項の審議を行ったことも付記しておく。

（大友英樹報）



好評の小島牧師の「牧会講話」

# 16年度オリエンテーション、新会場にて

▼**教師委員会**

6月15・16日、「新任教師オリエンテーション」に際して、第2回教師委員会を開催した。議事日程および前回議事録承認、諸報告を受けて、まず新任教師オリエンテーションについての最終的な確認を行った。主な議事として、次の事項を審議した。

① 神学校問安の件。教師

委員会では、隔年で教師養成を託している教団立神学校および認可神学校の6校を問安している。今回は10月5・6日、関西学院大学同志社大学。11月17日、東京神学大学・農村伝道神学校。11月30日、東京聖書学校・日本聖書神学校に問安をすることを決定した。

②教師養成制度検討委員

会提案の件。同委員会から「就任後10年経過の教職を対象にした研修会」を教師委員会にて検討依頼の提案を受けた。今後の課題として継続審議とした。

③第6回夏期研修会の件。伝道推進会の実施する研修会には後援として協力、継続教育研修費の対策とすることを決定した。

④教務教師登録の件。関係学校および関係団体以外の教務教師登録について、教師委員会での取り扱いの要請があったが、教規43条にある委員会の取り扱う事項とは認められないと判断して、総幹事へ返信することを決定した。

⑤被災地教会・伝道所の担任教師問安の件。37・38

うことになるが、10月26、27日に問安を実施予定とすることを決定した。

⑥2016年度新任教師オリエンテーションの件  
日程は6月13～15日、会場はハートピア熱海に決定した。会場は交通の便のことを考慮して、新しい会場で開催することになった。

(大友英樹報)

札幌にてフィードバック

社会委員会 ▲

第39総会期第2回社会委員  
員会が6月16日・17日、札幌  
幌教会を会場にして開催さ  
れた。

会議の前の15日・16日に  
フィールドワークが行われ、  
札幌にある社会福祉法人  
神愛園を訪問する機会が  
与えられた。神愛園は、キ  
リスト教社会事業同盟に加

入している法人である。始めに神愛園清田を訪ねた。そこでは、神愛園の歴史について、特別養護老人ホームについて、軽費老人ホームについて学び、現在の課題、さらには制度上の問題について学んだ後、施設見学をした。

次に神愛園手稲を訪ね

た。現在神愛園手稲は、特別養護老人ホームの建て替えが行われていた。現在の建物は45年前に建てられたものであり、老朽化等の理由からである。移設新築に約13億円かかり、補助金がないため、7億円の自己資金と6億円の借入金で行われる。

神愛園は創立当初から施設での礼拝を一日も欠かすことなく行っている。このような施設は、全国でも多くはない。教派を超え、地域の牧師に来てもらっている。冬の気候条件は厳しい中であるが、毎日礼拝を守るために並々ならぬ努力がなされている。

その後、開催された委員会では、開会礼拝の後、諸報告がされ、特記すべきことは、ACTの要請に心えネパールの大地震の募金を行っていること、「第3回『マイノリティ問題と宣教』国際会議」に教団が後援団体となったことの2点

国社会委員長会議等について協議した。

その他、社会委員会の使命に関わる事柄について協議し、意見を交換した。

次回委員会は9月28日～29日に京都で開催する予定である。

（加藤孔二報）



神愛園手稲のロビーにて







▶ 部落解放センター運営委員会 ◀

(教団総幹事 長崎哲夫)